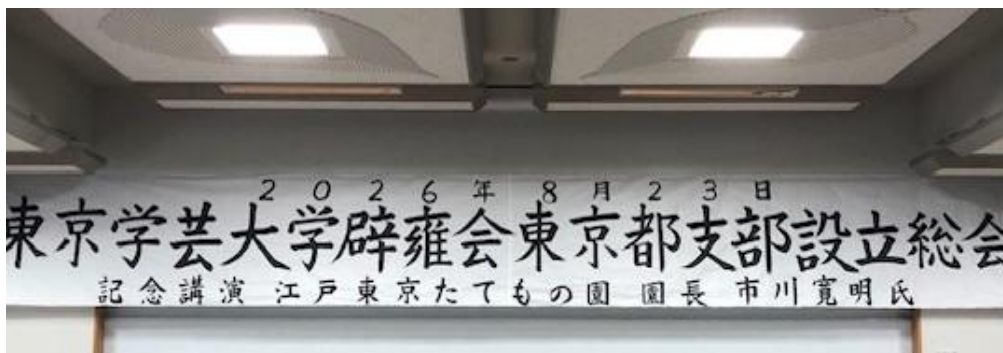


「東京辟雍会」設立総会開催

2026年8月23日（日）、東京学芸大学講義棟（S410 教室）にて、「東京学芸大学辟雍会東京支部（東京辟雍会）」の設立総会が開かれました。当日は総会の前に「学芸大学キャンパスツアー」の企画があり、参加者はAコース（辟雍会関連施設等の周遊）、Bコース（直近30年間新築施設等の周遊）、Cコース（グリーンアドベンチャー）に分かれて、かつての学び舎に思いを馳せました。



午後2時から始まった総会には、歴代の本学学長や辟雍会会長をはじめとして関係者57名が出席しました。二宮修治設立準備委員長が東京辟雍会設立総会の開会を宣言し、会の進行に務められました。馬淵貞利辟雍会会長は、冒頭に、本会設立の背景を紹介されました。一般社団法人東京学芸大学同窓会をはじめ、多くの方々と相談を重ねてこられた経緯を述べられました。「東京には2つの同窓会組織が存在しますが、それが東京学芸大学のメリットとなるように発展していったほしい」と本会の設立と活動に期待を寄せました。来賓の一般社団法人東京学芸大学同窓会の茅原直樹理事長は、本会の設立に至るまで尽力された馬淵会長はじめとした方々に謝意を述べたあと、140年前に遡る伝統ある東京都教員の本学同窓会組織として、新しい本会とは学びのプラットフォームとして連携し、可能な限り本会を支援していきたいと述べられました。



馬淵貞利会長



茅原直樹理事長

続いて、支部規約の確認があり、東京都支部（東京辟雍会）の新役員が選出されました。第一期役員は、会長・近藤由紀彦氏（上野毛幼稚園園長）、副会長・金沢みどり氏（東洋英和女学院大学教授）、同・増田金吾氏（東京学芸大学名誉教授）、幹事長・鬼澤宥人氏（桐朋学園教諭）、幹事・二宮修治氏（東京学芸大学名誉教授）、同・八木澤弘子氏（東京学芸大学元職員）、同・立川信史氏（スマイルウィズアート代表）、同・今藤晃裕氏（開智国際大学）、会計監査・田村典男氏（東京学芸大学元職員）、同・山口寿夫氏（東京学芸大学元職員）により会が運営され、それを 11 人の特別相談役が支えるということになりました。



新会長に就任した近藤由紀彦氏

総会の後は、江戸東京たてもの園園長・市川寛明氏による記念講演「江戸東京たてもの園の見どころ紹介―東京辟雍会活動に博物館見学ツアーを」が行われました。本学から徒歩で行くことができる小金井公園、その敷地内にあるこの博物館の紹介は、東京辟雍会のこれからの活動に参考となるものでした。この博物館は江戸東京博物館の分館の位置づけにあると言いますが、市川氏は前職がその江戸東京博物館の職員でした。当時の館長は本学名誉教授の竹内誠先生、市川氏が本学在学中に師事された先生と伺いました。



記念講演（江戸東京たてももの園園長・市川寛明氏）

総会・講演の終了後、場所を武蔵野第2ホールに移し、記念祝賀会を催しました。荒尾禎秀辟雍会初代会長の乾杯のあと、本学の佐々木幸寿学長の祝辞がありました。祝辞は鷺山恭彦本学元学長・辟雍会元会長、村松泰子本学元学長、出口利定本学元学長、吉野尚也一般社団法人東京学芸大学同窓会元理事長が続き、お祝いと共に、東京辟雍会への期待が寄せられました。祝賀会には、東京学芸大学混声合唱団の学生11人が学生歌「若草もゆる」を澄み切った歌声で響かせ、祝賀会に華を添えました。学生の一人が近藤新会長の大学講義を受講した縁で参加したとのことでした。まさにオール学芸が後押しする「東京辟雍会」の船出でした（小澤一郎 記）。



佐々木幸寿学長



「若草もゆる」を合唱する東京学芸大学混声合唱団